

備前市公共交通網形成計画（案）に対する意見募集の公表について

備前市公共交通網形成計画（案）に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、ご意見の要旨と市の考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきましてありがとうございます。

- ・意見募集期間 令和2年2月25日（火）～3月16日（月）
- ・意見募集結果 2件（1名）

	意見等の要旨	市の考え方
1	<p>P11 路線の運行収支</p> <p>図表の路線別運行収支は市民にはピンとこないし、分かりづらい。</p> <p>収支率ではなく、一便一人当たりの運行経費を記載し、利用の推進を図るべき。</p> <p>一方で、利用が少ない路線については、経費がかさんでいるように感じとれることから、廃止若しくは代替を検討するよい機会になると考える。</p> <p>収支率ではリアリティーに欠けるので、よりリアルに市民に知らせることができ。(民間業者での指標はこういう考え方だと思う)</p>	<p>ご指摘の一便一人当たりの運行経費についてですが、現行の一便あたりの平均乗車人数及び収支率、市民一人当たりの税金投入額等の表現をもちいて利用の推進を図っていきたいと考えております。</p> <p>また、市としても、将来にわたって市民の生活を支える移動手段を維持・確保していくことが大きな課題となると考えております。</p> <p>令和2年度以降は、利用実態を把握するための調査を行い、買い物や通院、通学等における移動実態に合わせた見直し、路線の統合等を含め、実態やニーズに合った市営バスの再編を検討することとしています。</p>
2	<p>P25 通院における移動の実態</p> <p>P26 買い物における移動の実態</p> <p>P31 目指すべき公共交通の将来像</p> <p>P37 各目標に対応した事業の内容「目標①の事業①備前市営バスの見直し」</p> <p>備前市の公共交通網形成計画を策定するのに定期航路やJR、タクシーの実態が欠けている。</p> <p>市全体のネットワークで考えるべきで、市営バスだけに特化した内容、将来計画になっている。</p> <p>将来計画なので市全体を見渡した面的、</p>	<p>市営バスを主とした内容、将来計画として記載はしておりますが、もちろん定期航路やJR、タクシーなどの公共交通機関を含めた内容、将来像として検討していくこととしています。そのため、P25、P26の通院、買い物における移動の実態については、平成30年9月に実施したアンケート調査を基に集計しており、移動手段については定期航路も含まれております。</p> <p>一方で、P31の目指すべき公共交通の将来像においては定期航路が含まれていなかったため、ご指摘を踏まえ定期航路を地</p>

<p>まちづくりと連携した内容とは言えないと思う。</p> <p>P25、P26、P31、P37 と定期航路の記載がないのはどうか？</p> <p>それぞれの交通機関の課題も見えてこない。</p>	<p>域間の幹線として位置づけます。</p> <p>計画の基本方針についても、広域的な幹線（鉄道や民間路線バス）や一部の地域間幹線（定期航路や市町をまたいで運行するバス路線）への接続強化を図り、利便性の向上に努めていくことを基本方針①に掲げ、取組を推進していきます。</p> <p>また、バス・鉄道・定期航路等、市内を運行している公共交通の利用促進策を積極的に展開することを基本方針③に追加し、市内を運行する公共交通を全体でとらえて利用促進策を実施していきます。</p>
--	---